

小中学校での防災教育および東日本大震災での避難行動に関するアンケート調査
結果【速報版】

平成 23 年 10 月 7 日

岩手県土整備部河川課
岩手大学工学部附属地域防災研究センター

1. アンケート調査の目的

2011 年 3 月 11 日の大震災に伴い発生した津波により、岩手県沿岸地域は甚大な被害をこうむった。その際の小学校、中学校の避難の実態について、各校の実情を把握するため、岩手県沿岸 12 市町村の小学校、中学校を対象に、日ごろの防災教育と、3 月 11 日の避難行動に関するアンケートを実施し、対応を検討し、地震津波発生時における迅速な避難、津波被害を軽減するための防災活動と防災教育の向上に資するもの。

2. アンケートの実施方法

①対象地域： 沿岸 12 市町村に校舎を持つすべての小学校、中学校

②対象学校数： 177 校（182 校にアンケートを送付した内、2 校は廃校、3 校にはアンケートが届かなかった）

3. 調査分析における標本数、回収率など

アンケート回収数： 141 校（内、有効回収数 141 校）

小学校： 50 校

中学校： 28 校

学校名不明： 63 校（内、5 校を避難所より特定）

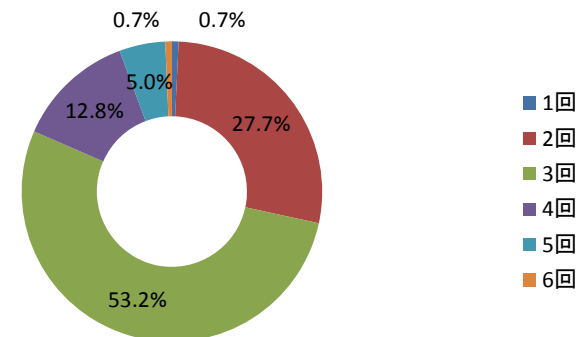
※ 現在、詳細な分析中であり、分析結果はとりまとめ後に岩手大学から発表される予定です。
本資料は結果報告のみとなります。

【問 1】 次の活動について、どの程度の頻度で行われていましたか

a1) 避難訓練

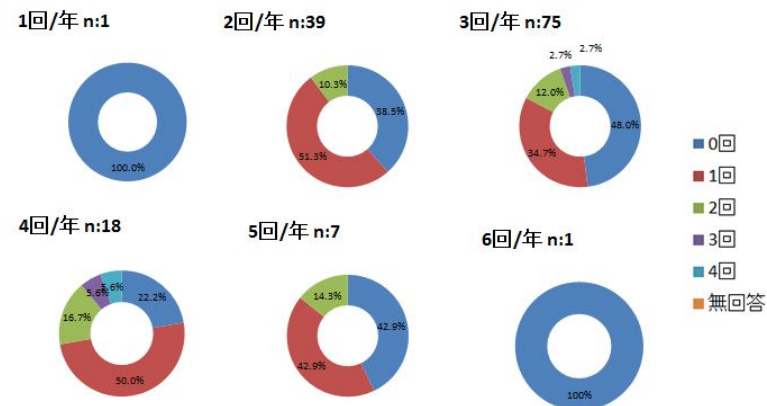
141 校のうち、5 割以上の学校が、避難訓練を年に 3 回行っていると回答した。

n:141



a2) その内、津波避難場所への避難訓練

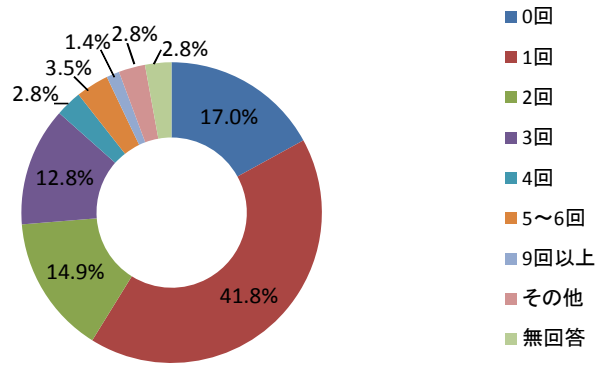
a1)で年間の避難訓練回数が 3 回と回答した 75 校のうち、26 校が津波避難場所への避難を行っている と答えた。



b1) 防災教育

141校のうち、約4割が、一年に1回の防災教育を行っていると回答した。

n:141

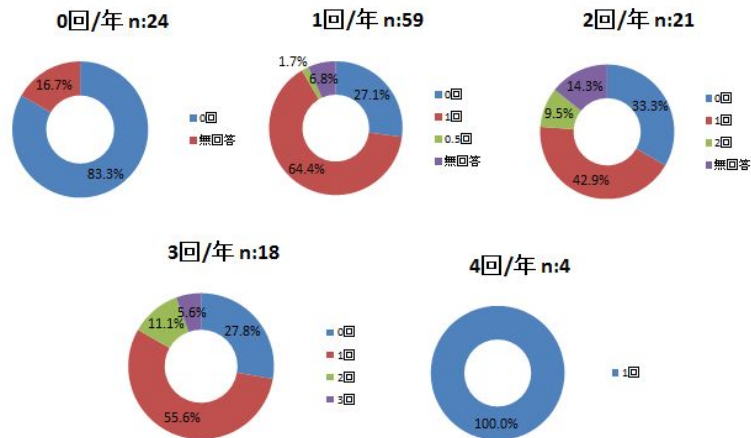


※防災教育頻度が年5回以上およびその他は、以下に示す。

防災教育(回/年)	津波防災教育(回/年)
5	0
5	2
5	2
5	3
6	1
9	7
14	14
0~1	0~1
随時	無回答
多	複数
通年	無回答

b2) その内、津波防災

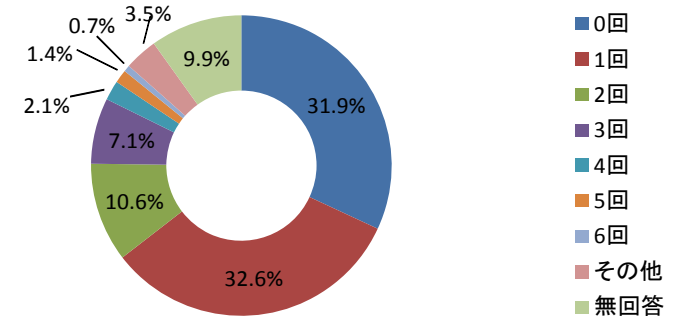
b1)で年に1回防災教育を行っていると答えた59校のうち、38校が、その培養が津波防災に関するものであると回答した。



c1) 防災に関連した広報・配布物

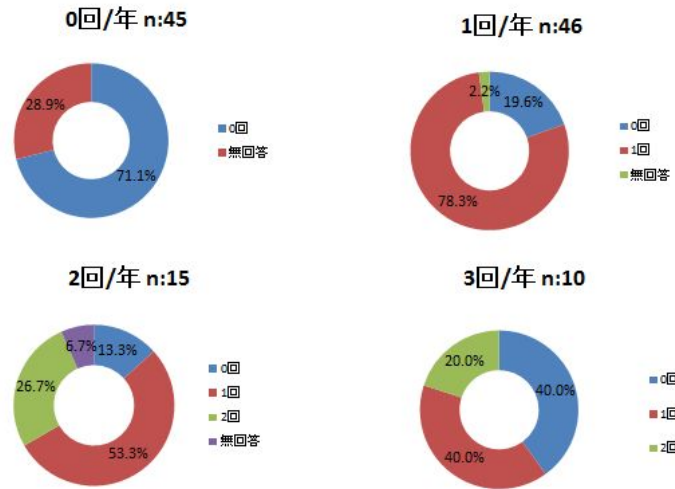
141校のうち、防災に関連した広報・配布物の年間の配布回数が0回、1回と答えた学校は、それぞれ全体の約3割だった。

n:141



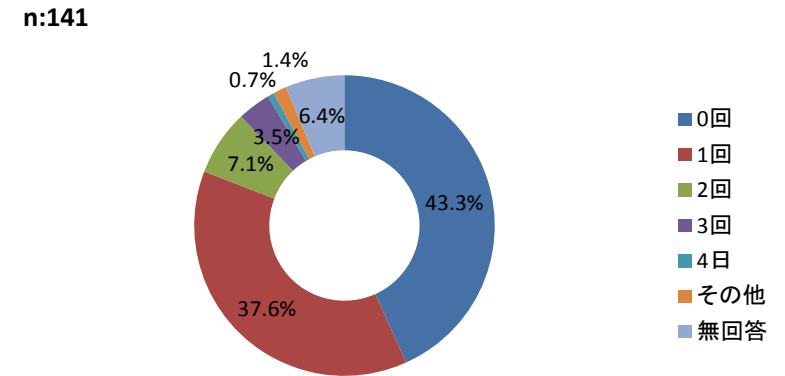
c2) その内、津波防災

防災に関連した、広報・配布物の年間の配布回数が1回と答えた46校のうち、36校が、その配布物が津波防災に関するものだと回答した。



d1) 学外者による実地訓練

141校のうち、4割弱の学校で、年間に1回の学外者による実地訓練を行っているとは回答した。

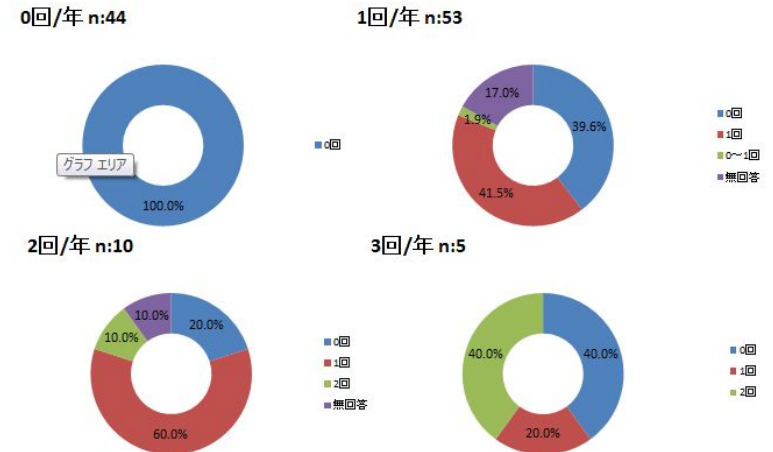


d2) その内、津波防災

年間に1回の、学外者による実地訓練を行っているとは答えた53校のうち、22校が、その内容が津波防災に関するものであると回答した

※防災に関連した広報・配布物が年4回以上およびその他は、以下に示す。

全体(回/年)	津波(回/年)
4	4
4	2
4	1
5	1
5	3
6	2
0~1	0~1
2~3	1
随時	無回答
数回	無回答
複数	複数



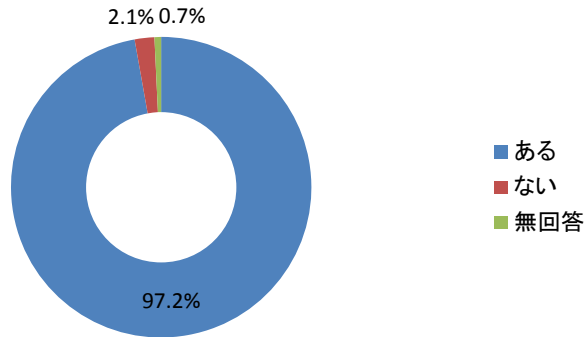
※学外者による実地訓練・講話が年4回およびその他は、以下示す。

全体(回/年)	津波に関して(回/年)
4	2
0~1	0~1
随時	無回答

【問3】地震・津波に対する危機管理マニュアルがありますか

回答した学校のうち、ほぼすべての学校が、地震・津波に対する危機管理マニュアルがあると回答した。

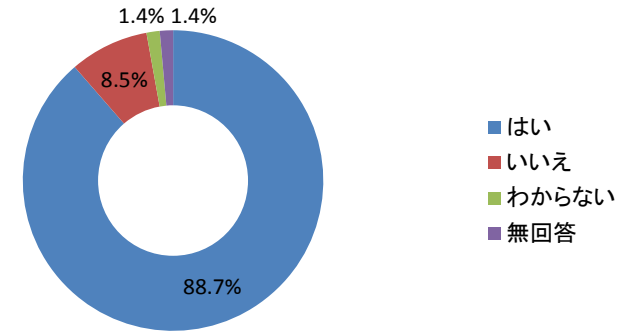
n:141



【問4】危機管理マニュアルを定期的に見直し、あるいは全教諭に周知していませんか

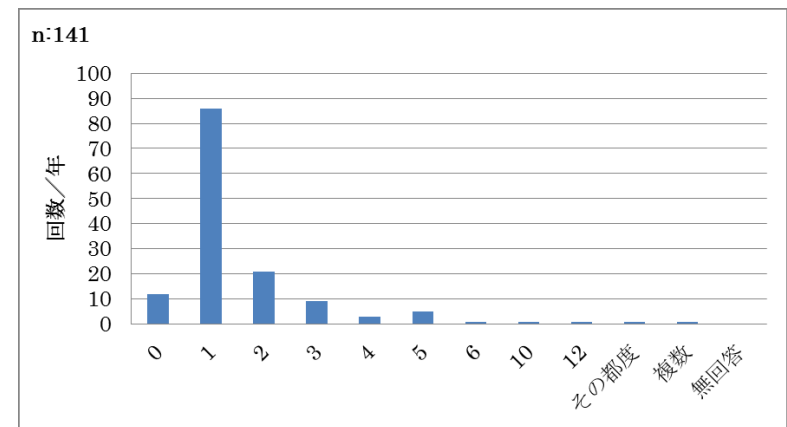
回答した学校のうち、約9割が危機管理マニュアルを定期的に見直し、あるいは全教諭に周知していると回答した。

n:141



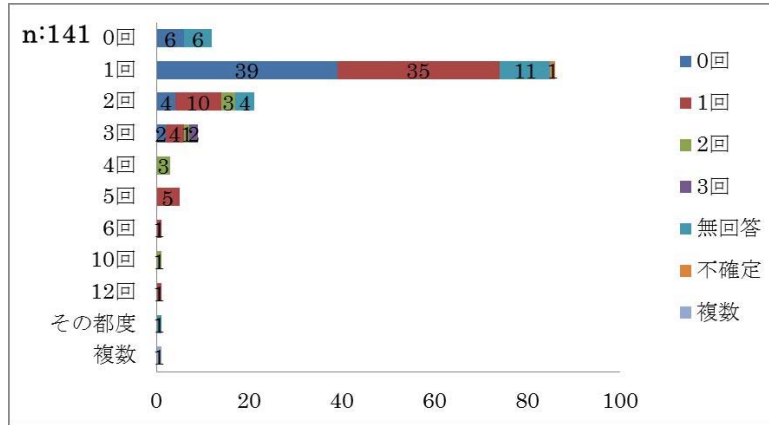
【問5-1】危機管理に対する勉強会・講習会はどのくらいの頻度で行われていましたか

141校のうち、約80校が、危機管理に対する勉強会・講習会を、年に1回の頻度で行っていたと回答した。



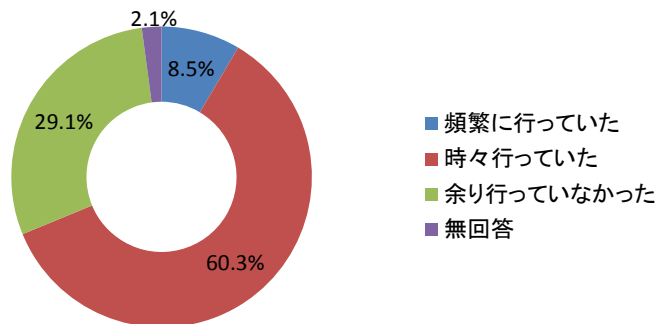
【問 5-2】 そのうち津波を対象とした勉強会・講習会はどのくらいの頻度で行われていましたか

年に1回の頻度で、勉強会・講習会を行っていたと回答した86校のうち、35校がそれが津波を対象としたものだったと回答した。



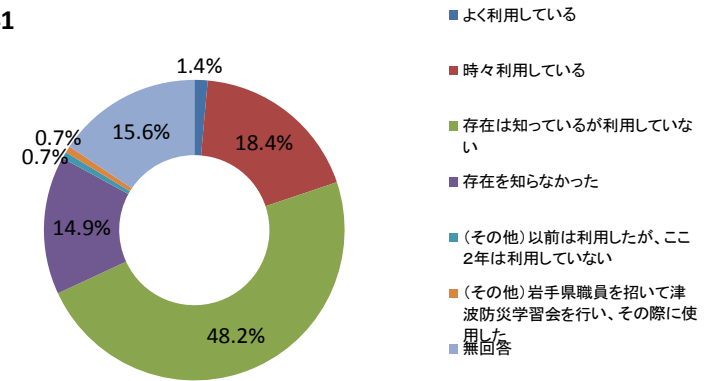
【問 6】 学校内（先生同士）で防災教育について話し合いが行われていましたか
141校のうち、学校内で防災教育についての話し合いを、時々行っていた、と回答した学校は全体の約6割であった。

n:141



【問 7】 岩手県・岩手大学が作成した津波防災学習教材（DVD）を利用していますか
141校のうち、津波防災学習教材の、存在は知っているが利用していない、と回答した学校が最も多く、約5割だった。

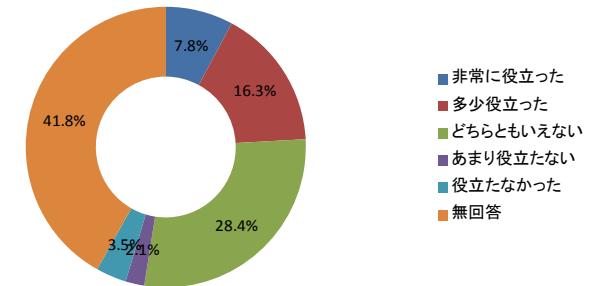
n:141



【問 8】 問 7 の津波防災学習教材に関する講習会は、貴校での防災教育に役立ちましたか

141校のうち、1割弱の学校が、津波防災学習教材が非常に役立ったと回答し、2割弱の学校が、多少役立ったと回答した。

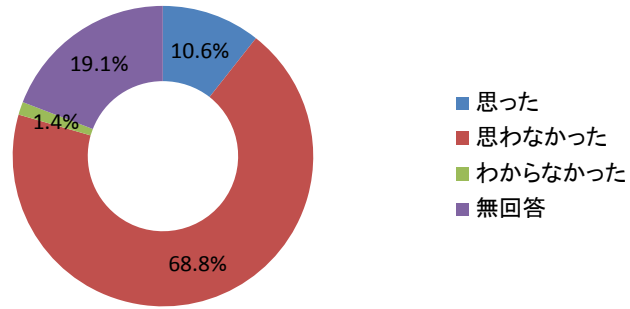
n:141



【問 9】東日本大震災前、学校まで津波が来ると思いましたか

141校のうち、約7割の学校が、学校まで津波が来ると思わなかった、と答えた。

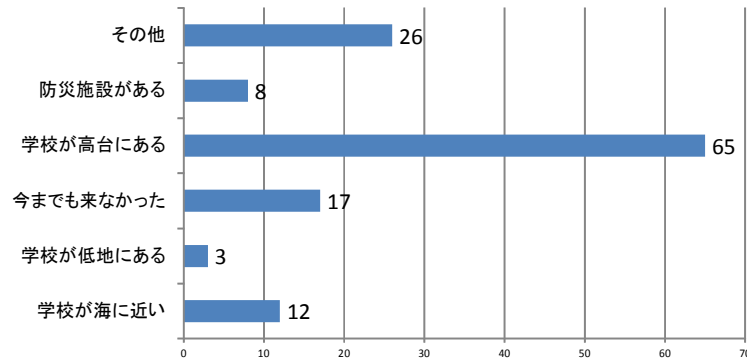
n:141



【問 10-1】なぜ問 9 のように思ったのですか

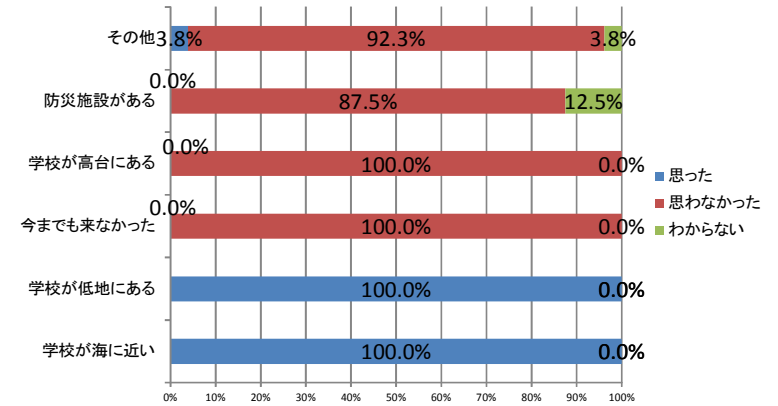
問 9 で、津波が学校まで来ると思った、または来ないと思った理由に関して回答した114校のうち、65校が学校が高台にある、を選択した。

n:114



【問 10-2】各選択肢における問 9 の割合

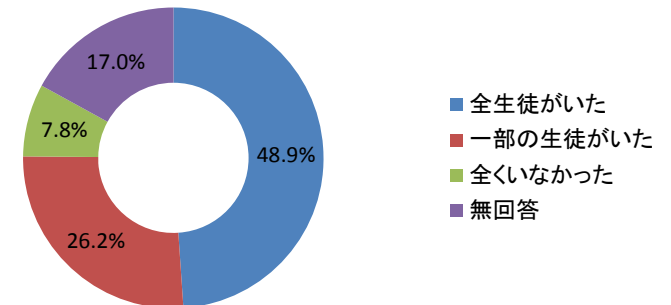
学校が高台にある、今までも来なかったと回答した学校は、震災前に津波が学校まで来ないと思っていた学校であった。



【問 11】地震発生時、学校に生徒はいましたか

141校のうち、約半数の学校が、地震発生時に全生徒が学校にいたと答えた。

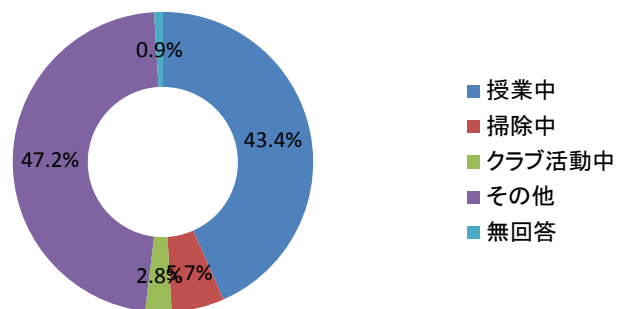
n:141



【問 12】その時学校は、どのような状況でしたか 学校に生徒がいた学校を対象(問 11 で 1or2 を選択)

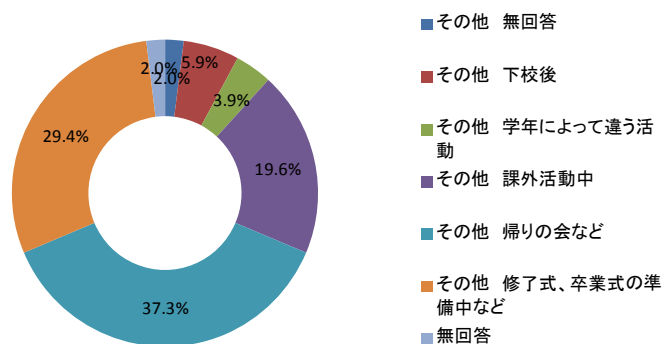
問 1 1 で、地震発生時に学校に生徒がいたと答えた 1 0 6 校のうち、約 4 割が授業中であつたと答え、約 5 割が、その他を選択した。

n:106



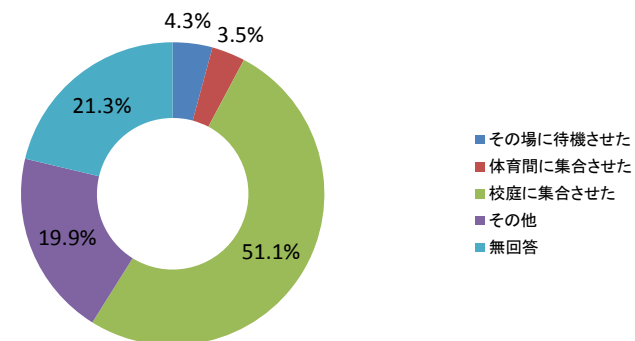
地震発生時の活動に関して、その他を選択した学校が自由記述で回答した活動内容は以下のようになつた。

n:51



【問 13】地震の揺れが一旦おさまった後、生徒にどのような指示を出しましたか 1 4 1 校のうち、約 5 割の学校が、地震の揺れが一旦おさまった後、生徒に校庭に集合するように指示を出したと答えた。

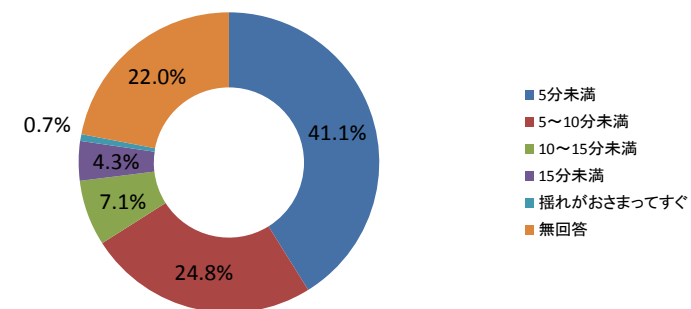
n:141



【問 14】問 13 の指示は地震発生から何分後ですか

問 1 3 の指示を出した時間について、5 分未満と答えた学校が、約 4 割となつた。

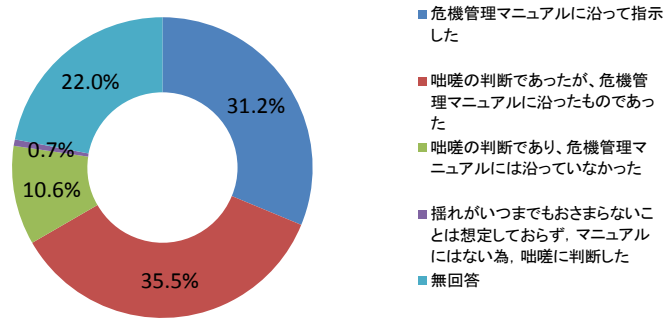
n:141



【問 15】その指示は危機管理マニュアルに沿ったものですか

問 13 で回答した指示について、危機管理マニュアルに沿って指示したと答えた学校は、141校のうち、約3割であった。

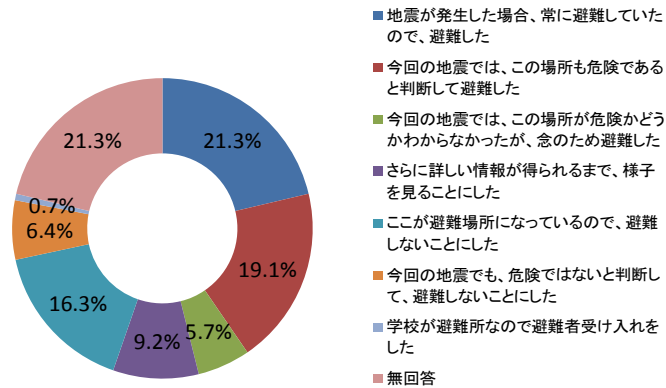
n:141



【問 16】地震直後、避難についてどのように判断しましたか

141校のうち、地震が発生した場合には常に避難していたので避難した、と答えた学校が約2割、今回の地震ではこの場所も危険であると判断して避難した、と答えた学校が約2割であった。また、避難しなかった（さらに詳しい情報が得られるまで様子を見ることにした、ここが避難場所になっているので、避難しないことにした、を選択）学校が、合わせて2割以上となった。

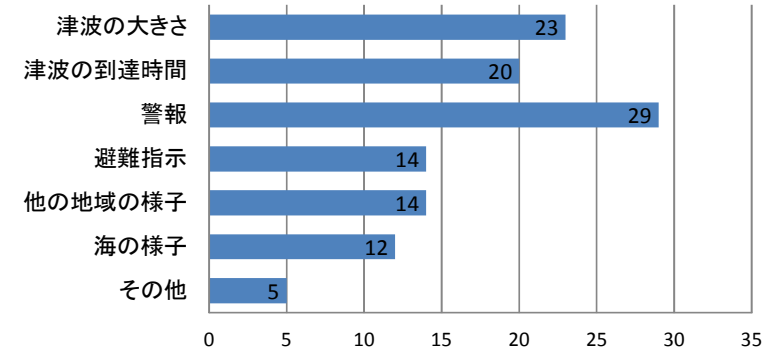
n:141



【問 17】その後、どのような情報を集めましたか（複数回答可）

問 16 で、さらに詳しい情報が得られるまで、様子を見ることにした、または、ここが避難所になっているので、避難しないことにした、を選択した36校に、その後集めた情報について聞いたところ、29校が警報、23校が津波の大きさに関する情報を集めたと回答した。

n:36

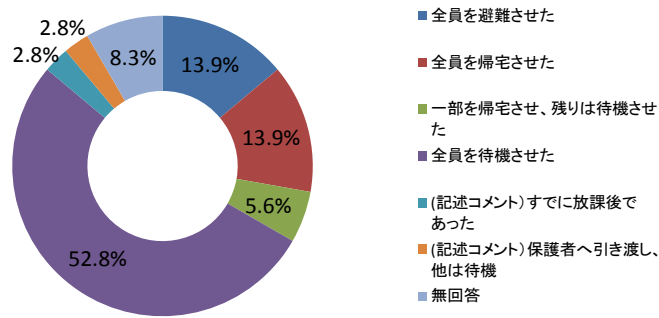


【問 18】 情報を得た後、どのようにしましたか（問 16 で 4or5 選択した学校対象）

※ここでの“帰宅”とは生徒のみあるいは先生の引率による帰宅であり、迎えに来た保護者との帰宅は含みません

問 16 の回答結果で、避難以外の行動をとった 36 校のうち、約半数が、情報を得た後、全員を待機させた、と回答した。

n:36



【問 19】 一次避難の決め手となった情報は、いつ、どこから、どのような内容得ましたか

1) 情報を得た時間（本震から何分後か。）

問 18 で、全員を避難させた、または一部を帰宅させ、残りは避難させたと回答した 5 校のうち、2 校が、避難の決め手となった情報を得た時間を、地震発生後 10 分~20 分と回答した。

2)情報源

その情報源として、地域の消防団員、携帯のワンセグ、防災無線、実際の津波を見て、が挙げられた。

3)情報の内容

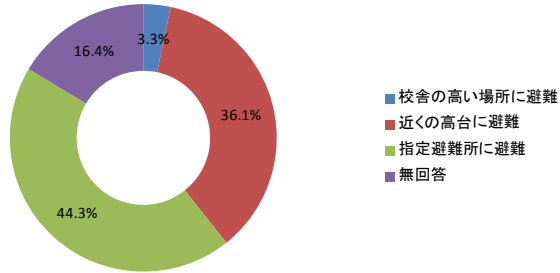
また、それぞれの情報の内容は、以下の通りであった

何分後	情報源	内容
14分後	防災無線	大津波警報発令
14分後	携帯のワンセグ	津波が3m、大津波警報発令、その後津波6mの放送
34分後	地域の消防団員	「山に逃げろ」と大きな声で校庭の児童住民に叫んだ
54分後	実際の津波を見て	第2波、第3波が学校まで到達するかもしれないと思った
無回答	無回答	無回答

【問 20】どこに避難しましたか

問 16, 問 18 で避難したと答えた 61 校のうち, 3 割以上が近くの高台に避難し, 4 割以上が指定避難場所に避難したと答えた.

n:61

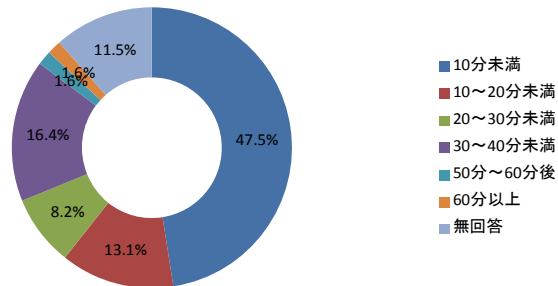


※釜石小学校「避難したというより避難所対応をしました」という回答は外しました

【問 21】一次避難開始は地震発生何分後ですか

問 20 で答えた避難場所への避難開始時刻として, 約半数の学校が 10 分未満と回答した.

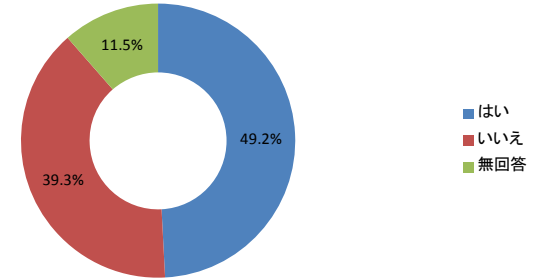
n:61



【問 22】その場から移動しましたか

避難したと回答した 61 校のうち, 約半数が一時避難場所から移動したと答えた.

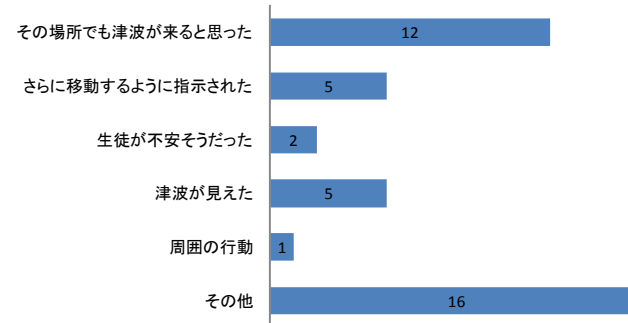
n:61



【問 23】なぜそのような行動をしたのですか

一時避難場所から移動した理由について, 問 22 で一時避難場所から移動したと回答した 30 校のうち, 12 校が, その場所でも津波が来ると思った, を選択した.

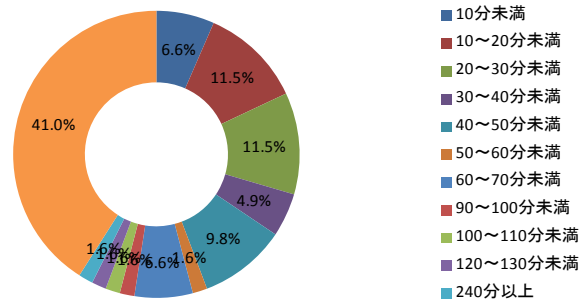
n:30(複数回答)



【問 24】 その行動は地震発生から何分後ですか

一時避難場所から何分後に移動したかについて、避難した 61 校の回答は大きくばらつく結果となった。

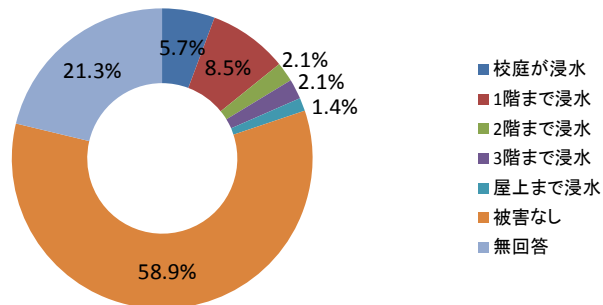
n:61



【問 25】 学校はどのくらいの高さまで浸水しましたか

141 校のうち、半分以上が被害なしと答え、約 2 割の学校が、校庭や建物が浸水したと回答した。

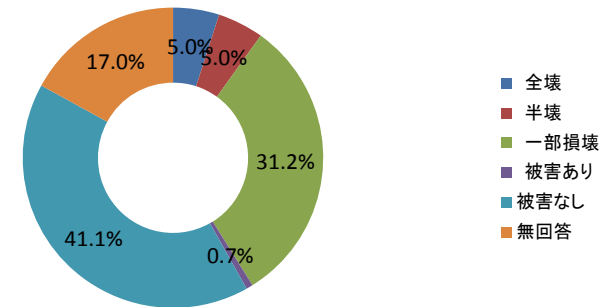
n:141



【問 26】 学校は地震・津波による被害を受けましたか

141 校のうち、約 4 割は被害なしと回答した。全壊、半壊を選択した学校は、それぞれ全体の 5%だった。

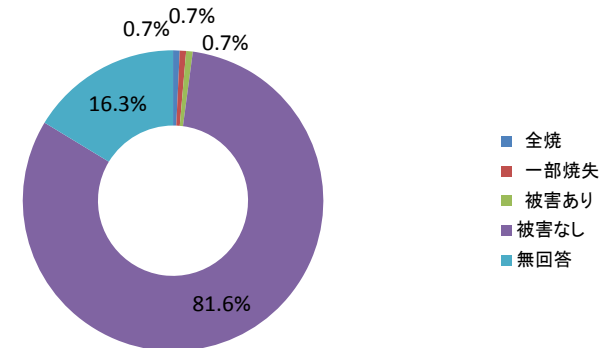
n:141



【問 27】 学校は火災による被害を受けましたか

141 校のうち、約 2%の学校が、火災による被害があったと回答した。

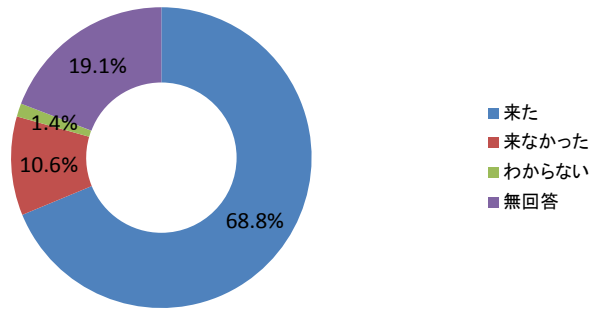
n:141



【問 28】地震発生後、保護者が生徒を迎えに来ましたか

141校のうち、地震発生後、保護者が生徒を迎えに来たと答えた学校は、約7割だった。

n:141



【問 29】保護者に対してどのような対応をしましたか

または、実際には来なかったが、もし来たらどのような対応をすべきだと思いますか

141校のうち、2割以上の学校が、保護者も生徒と避難するという選択肢を選び、約3割が保護者に生徒を引き渡す、と答えた。

n:141

